

■令和7年5月定例記者会見

日時：令和7年5月22日(木)午後2時～3時

場所：吹田市役所高層棟4階特別会議室

【市長挨拶】

後藤市長

よろしくお願ひします。

改めてご報告が一つ。最近のいいニュースと言いますと、太陽の塔が重要文化財になった。非常に嬉しいことです。ただ、この特殊性を皆さんにもご理解いただきたいんですけども、万博公園内は吹田市の手は及びません。太陽の塔は財団の所管になります。

我々が名刺とか、いろんな物品に太陽の塔を一切使わない、あれは使えないからです。全てお金が発生します。財団に対して。それは大阪府も同じです。

重要文化財になって、まだそれでいくのかと、国民のものじゃないかっていう、別に府民市民のものとは言いませんけど、あれこそ国民のものに今回、重文になって、なったなーと。そういうた報道をしていただけだとありがとうございます。一財団の持ち物じゃないと。嬉しい反面、前からこの件では、大阪府とともに問題視をしているところです。

それが一件です。

あと公園のリニューアル。中の島公園のリニューアル。

これ順々に進めていますけど、公園のリニューアル、魅力アップができる自治体っていうのは、非常に少ないです。というのも、行政の政策の優先順位の中で、公園の再整備、リニューアルっていうのは、正直言いますけど非常に優先度が低いです。というのは、このままでも今日も楽しんでいただいているわけですよ。砂場とか金属類とかの維持はしますけど。

今の世代に向けて新しい遊具を入れて、今やったらカフェが欲しいわけですよ。そういうことをできる自治体っていうのは本当に少ない。その中で、江坂もやりました。今度、中の島もやりますし、順々に公園の魅力アップをしていこうというところは、吹田の特徴であると思っています。

それと最後ですが、今度平和シンポジウムの企画をしています。「紛争から考える調和のとれた社会とは」、これ相当硬派です。というのは、もう2年以上前から万博協会に（平和シンポジウムの）申し入れをしていました。推進局にもその話をできました。1970年万博と2025年万博との関係、どう考えるか。55年の年月で人類の進歩と調和はどうなったか。これを岡本太郎と繋げることなく、25年万博やるんですかっていう。是非一緒にやりましょうというのは、申し上げていたんですけども、残念ながら今現在、吹田の万博会場と夢洲は全く繋がりがありません。非常に残念です。

そこで、我々は予算を取りまして、シンポジウムをやろうと。これは哲学的なシンポジウムです。本来夢洲でやるべきことですけれども、この55年間に人類は、どう進歩して、調

和はどうなっているのか。それはなぜか、進んできたのか、退歩、下がっていっているのかどっちやっていうのを、硬派な先生方、主に大学、アカデミアですけど、集まっていただいて、振り返ると。それは万博会場でできるか、いや、メイシアターでやるのかっていうのはありますけれども、これは是非ご注目いただきたい。若い人に、その議論を聞いてもらいたいと思っております。

私からは以上です。